

第 2 3 回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

- | | | | |
|---|-----|--------------------------------|-----------|
| 1 | 日時 | 平成30年12月11日(火) 午後2時30分～午後4時10分 | |
| 2 | 場所 | 蒲郡市役所 本館 303会議室 | |
| 3 | 出席者 | 委員 愛知工科大学機械システム工学科教授 | 村上新(欠席) |
| | | 委員 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 | 松本幸正 |
| | | 委員 愛知運輸支局 | 杉本忠久 |
| | | 委員 愛知県交通対策課 | 榊原仁 |
| | | | (代理 吉越翔馬) |
| | | 委員 総代連合会会長 | 細井政雄 |
| | | 委員 総代連合会副会長 | 遠山憲章 |
| | | 委員 総代連合会副会長 | 尾崎英行 |
| | | 委員 形原地区公共交通協議会 | 壁谷権一郎 |
| | | 委員 蒲郡市身体障害者福祉協会 | 金沢孝一 |
| | | 委員 蒲郡市老人クラブ連合会 | 松本久乃 |
| | | 委員 蒲郡市社会福祉協議会 | 金原久雄 |
| | | 委員 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 | 菰田寛子 |
| | | 委員 蒲郡商工会議所 | 小池高弘 |
| | | | (代理 井澤康彦) |
| | | 委員 蒲郡市観光協会 | 杉山和弘 |
| | | | (代理 鈴木和範) |
| | | 委員 名鉄バス株式会社 | 吉岡実 |
| | | 委員 豊鉄タクシー株式会社 | 浅野丈夫 |
| | | 委員 株式会社かね自動車 | 天野一美 |
| | | 委員 名古屋鉄道株式会社 | 河合貴夫 |
| | | 委員 公益社団法人愛知県バス協会 | 小林裕之 |
| | | 委員 愛知県タクシー協会 | 山田透(欠席) |
| | | 委員 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 | 白井淳 |
| | | 委員 愛知県蒲郡警察署 | 竹内敬悟 |
| | | 委員 東三河建設事務所 | 稲垣秀高 |
| | | 委員 蒲郡市長 | 稲葉正吉 |
| | | 委員 蒲郡市総務部長 | 壁谷勇司 |
| | | 委員 蒲郡市企画部長 | 飯島伸幸 |
| | | 委員 蒲郡市市民福祉部長 | 竹内仁人 |
| | | 委員 蒲郡市建設部長 | 鈴木伸尚 |
| | | 委員 蒲郡市産業環境部長 | 贄年宏 |
| | | 委員 蒲郡市都市開発部長 | 鈴木成人 |

事務局 蒲郡市交通防犯課長 池田高啓
蒲郡市交通防犯課長補佐 松井英樹
蒲郡市交通防犯課主事 石川雄策
蒲郡市交通防犯課主事 井本博子
地域公共交通網形成計画推進事業受託事業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 1名

4 傍聴人 3人

5 議事

(1) あいさつ

(2) 座長等の指名について

6 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業補助金にかかる自己評価について・・・【資料1】

7 報告事項

(1) 名鉄西尾・蒲郡線利用状況等について・・・【資料2-1、2-2】

(2) 形原地区支線バス利用状況等について・・・【資料3】

(3) 形原地区支線バス運行日の拡大について・・・【資料4】

(4) 東部地区支線バス事業案について・・・【資料5】

8 その他

(1) 夏休み小学生50円バスの実施結果について・・・【資料6】

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 出席委員が28名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び地域公共交通網計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議事

ア あいさつ

蒲郡市長、稲葉正吉より、本日は協議事項1件、報告事項4件を予定している。形原地区のあじさいくるりんバスは、利用者が順調に増加している。市内では、コミュニティバスの説明会を進め、東部地区での事業化の検討が進んでいる。交通事業者などと連携を密にして、交通施策を進めていきたい。公共交通に関わっていただいている皆さんが一同に会して話し合っただけの場所は非常に貴重であり、委員の皆様方には忌憚のないご意見をいただき、蒲郡市の公共交通がよりよくなるよう、ご協力を賜りたいとのあいさつがあった。

イ 座長等の指名について

- ・ 会長より臨時の座長として松本委員を指名したことの報告。また、議長については蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第6条第3項に基づき座長である松本委員を指名し、

議事を進行。

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

(3) 協議事項

ア 地域公共交通確保維持改善事業補助金にかかる自己評価について

- ・ 事務局より資料1に基づく説明が行われ、指摘部分について事務局にて修正を行い、修正内容については事務局および会長に一任するとして承認された。

〔質 疑〕

(委 員)

- ・ 評価について、事務局の説明通り、中部運輸局独自の評価をしている。本省への報告は、補助対象のみ評価で、中部では独自の評価を実施している。整合性がとれているか確認をお願いしたい。
- ・ 中部様式について、目標達成に向けた取り組み内容の4頁、目標の達成のために行っている事業として、交通網形成計画を確認させていただくと、高齢者の足確保事業も行っている。タクシーの役割も重要なので、高齢者割引タクシーチケット事業も記載をお願いしたい。
- ・ 計画の達成状況の評価・チェックの7頁について、支線バスの運行で、形原地区交通協議会の活動として、利用促進活動が行われている。その評価も記述してほしい。
- ・ 8頁の自己評価から得られた課題と対応方針・アクトについて、課題で便ごとの記載がされているので、評価部分にも便ごとの評価の記載をしておいてほしい。
- ・ 課題で、収支率の目標達成ができていないことが記載されているため、その点についても整理をお願いしたい。
- ・ 空白地解消についても評価をしていただきたい。
- ・ 10頁の第三者評価の対応状況について、PDCAの推進とあるが、具体的なことを記載してほしい。次年度以降に取り込まれる内容も示してほしい。

(事務局)

- ・ 4頁の目標を達成するために行う事業について、タクシーチケット補助事業も追記する。
- ・ 7頁の形原地区の利用促進事業について利用促進活動が適切に行われていることを記載する。
- ・ 便別の状況分析について、7頁の評価・チェックのところでも記載する。
- ・ 収支率2割の目標設定について、チェックのところでも評価を記述する。
- ・ 10頁のPDCAの具体的な取り組みについて、現在は年間5千人の達成を目指し、感謝状授与式を企画していること、その他収支改善策を講じていることを追記する。

(議 長)

- ・ 自己評価の重要事項は、アクトの部分。鉄道、路線バスは順調に利用が増加している。コミュニティバスは、朝1便が少し厳しいが全体では順調。今後の取り組みの部分が重要となる。この内容を交通会議で決定し、実施する。問題や足りない点などがないか、意見を頂戴したい。いかがでしょうか。

(委員)

- ・ 国の評価シートのB評価について、今後の改善点ではPR対応していくと記述しているが、具体内容があれば教えてほしい。

(事務局)

- ・ 朝1便のおでかけに、鉄道の利用促進もあわせてPRする。ジョルダンなどのネット検索ができる対応も行っているため、こうしたことを紹介、PRしていきたい。

(議長)

- ・ 国の様式について、便別の評価が必要か。

(委員)

- ・ 今後の改善点は、総合的に整理することも可能。

(議長)

- ・ 事業については順調。大きな改善ではなく、継続対応していくこととしている。
- ・ 拍手をもって承認いただいたものとする。

(4) 報告事項

ア 名鉄西尾・蒲郡線利用状況等について

- ・ 事務局より資料2-1、2-2に基づいて報告が行われた。

[質疑]

(委員)

- ・ 西尾・蒲郡線の利用促進について、大会に参加した。沿線の中高生からの発言・発表は印象に残っている。自らアンケート調査し、おすすめスポットの紹介などをしていった。
- ・ 最近、テレビ放映もされた。途中駅を下車して、名所を紹介する番組。インタビューすると、最初は名所はないという答えだが、しっかり聞いていくと、隠れた名所やものが紹介される。駅ごとに、名所・グルメの発掘を住民皆さん自らが行っていただき、表示を示していただくことで、行ってみたいと思う方がでてくると思う。そうしたチャンスを上手に活用しながら、利用促進につなげてほしい。

(委員)

- ・ 名古屋鉄道といっしょに、旅行商品の紹介を進めている。協会としても、ローカル線の魅力を、商材として発信できるように進めていきたい。
- ・ SNSを活用したものでは、市がインスタグラムで「いいじゃん蒲郡」というアカウントで情報発信を行っている。ナビテラスでも沿線イベントの情報発信をしている。

(委員)

- ・ 蒲郡はみかんが有名で、みかんきしめんなど売り出している。ガマゴリうどんなども、お土産としてつくっており、広く蒲郡を売り出す取り組みを進めている。

(議長)

- ・ 名古屋からの誘客だとJRの利用が多くなってしまう。西側に誘致する取り組みをお願いしたい。簡単に増やせることではないが、なくなると非常に困るものなので、ぜひご協力をお願いしたい。

イ 形原地区支線バス利用状況等について

- ・ 事務局より資料3に基づいて報告が行われた。

[質 疑]

(委 員)

- ・ 6月の利用実績は過去最高だった。運転手と情報交換をしている中で、あじさいまつりの状況について、今年は形原地区の中年の女性グループが多く利用されていた。マイカーでは渋滞するので、バスを選択されていた。4グループ見かけた。こうしたメンバーが口コミすることで、バスの利用促進につながることを期待している。
- ・ 形原温泉では、市外からの利用もあったと聞く。利用増に結び付いていると思う。
- ・ ぬりえ大会について、参加し65人の園児に聞いた。バスを見たことがある割合は、3分の1。見てくれている。乗ったことがあるのは5人。利用はまだ少ないが、両親・祖父母と利用してもらおうようPRした。
- ・ 今年、形原児童館に停留所を移設したが、あまり利用に結び付いていない。
- ・ 次の議事になるが、市長に増便の要望をしている。利用者から増便の要望がある。医療機関の利用者から、特に要望がある。金曜日の増便の要望書を提出した。ご賛同をお願いしたい。

(議 長)

- ・ ある自治体では目立つ赤色のバスにしている。赤バスと言って認知が高い。形原地区の写真を見ると、少しおとなしいかもしれないので、あざやかな色にしてもらうという方法もある。

(委 員)

- ・ 事務局と相談しながら考えたい。

ウ 形原地区支線バス運行日の拡大について

- ・ 事務局より資料4に基づいて報告が行われた。

(委 員)

- ・ 予算の確保を事務局で進めていただいている。
- ・ 収支率が下がる可能性があるが、利用される人の声を聞いて、サービスを拡充していきたいため、要望させていただいた。

(議 長)

- ・ 協議事項ではなく、検討をすすめている状況の報告。増便となると、他との競合、路線バスは競合しないが、タクシーは競合する可能性もある。運転手の確保といった問題もある。

(委 員)

- ・ 東部、西部地区の協議会の検討が進められていると聞いている。
- ・ 蒲郡市には、タクシー事業者は、豊鉄タクシーとかね一自動車しかない。運転手不足問題がある。高齢化も進んでいる。
- ・ 形原地区をふくめて、3地区すべて運行していくのか。財源も大きくなっていく。他の路線が運行を始める際には参画を検討していきたい。

(議 長)

- ・ 新規路線については、議論としてははずさせていただきたい。新規の事業は、まだ議事になっていないので、ここでは形原地区の増便要望だけについて議論したい。

(委 員)

- ・ 増便の協議は、次回以降になると理解する。
- ・ 車と人の問題について、運転手は専任で担当させている。週5日勤務しており、週3日はコミュニティバスを、その他の2日はタクシーに回っている。4日になっても問題はない。車も専用車で予備車もあるので、1日増えても問題がない。
- ・ 後方処理もあるが、大きく負担が増えるわけでないので対応可能であり、問題ない。

(議 長)

- ・ タクシー業界の利用者に対する影響はないか。

(委 員)

- ・ 4日になっても影響はない。

(議 長)

- ・ 収支率2割という目標がある。増便させると収支率は悪化する。
- ・ 地域の声を聞きしっかり対応されているが、要望を受けてやってよいか。何でも要望があればやってよいということではない。しっかり議論したい。

(委 員)

- ・ 収支率とは何か。バスの場合の収支率改善とは、利用者を増やすこと、100円を200円とするなど考えられる。税金を使って行う事業なので、収支率について確認したい。

(事務局)

- ・ 収支率2割は、指針で目標を設定したもの。コミュニティバス事業は、全国的に見ても赤字で、黒字化は難しい。
- ・ 交通空白地の対策、困っている人を救うことを目的として行う事業なのでお金だけでは測れないが、いくら使ってもよいというものではないと思う。
- ・ 収支率の定義は、事業経費に占める収入で、収入は運賃や広告収入を指す。収入÷事業経費で計算する。形原地区は約10%の水準。

(議 長)

- ・ 収支率2割はみんなで決めたこと。目標に向けて対応すべきこと。
- ・ 運行日の拡大はよいことで、利用促進を皆さんで対応されることにつながっていく。
- ・ 頂戴したご意見をふまえて、議論を進めていただく。反対意見はないと思う。タクシーへの影響もないことが確認できている。後は予算の確保。
- ・ 以上をふまえて検討をすすめていただきたい。

エ 東部地区支線バス事業案について

- ・ 事務局より資料5に基づいて報告が行われた。

[質 疑]

(委 員)

- ・ 東部地区の会長をしている。

- ・ 8月に協議会を設立した。4地区の前総代、現総代、副総代、老人クラブ、女性部、PTA、民生委員、地元市議からなる。男性中心の協議会メンバーであったため、実際の利用者として多い女性にも委員に入ってもらった。
- ・ 毎月議論をしてきた。みんなの関心は、停留所の位置が多い。
- ・ 委員には、いろんなコミュニティバスを利用してもらい、その報告をお願いしている。乗車体験をする中で、どの地区でも行われていることを知った。幸田と刈谷は無料。無料は、旅客運送事業ではないというのに気が付いた。財政が豊かだから、無料だと思っている。
- ・ 安城では、バス利用のメリットまで書かれたパンフが作られていた。バスを動かすことの社会的効果や免許返納者の対応などが示されていた。
- ・ 東部地区での取り組みとしてやりたいことを申し上げたい。環境にやさしい、エコバスを走らせたい。愛知県内ではやっていない。
- ・ 以前観光協会にいたときに、エコツーリズムというテーマを進めていた。加盟旅館の廃油を豊橋のガステックサービスに集めて、バイオディーゼル燃料としてリサイクルした。2009年から取り組んでいる。現在も20店舗近くの事業所で回収している。リサイクルして、バイオディーゼル燃料にかえ、ディーゼル車を導入して、リユースをしてみたい。実施するには、いろいろな抵抗があるが、運輸局、先生、タクシー会社等の協力を得て進めたい。
- ・ 供給はサーラが行うが、スタンドがないので、自家給油が必要。新しい取り組みとして、エコバスを導入し、廃油の回収についても商業施設で家庭から回収してみたい。
- ・ 商店利用時の回数券の配布なども含めて、いろいろやりたいと思っている。ご指導をお願いしたい。

(委員)

- ・ 検討いただきありがたく思う。無料バスについて、刈谷は貸し切りバスで行っている。市が負担し、利用者の負担をしない形式。
- ・ バイオ燃料の活用については、富士宮市で廃油を活用し、ポンチョを使っている。バスに乗ることそのものがエコになるため、自家用車からの転換を。
- ・ 免許返納策は、行政支援として、1年コミュニティバスを無料とする、タクシー利用券を配布するなど、さまざまな方法がある。
- ・ 住民参加型の公共交通の取り組みは、支局も推奨している。核となる方が高齢になり、持続性がないという問題を抱える事例もあるがぜひ進めてほしい。支援できることは協力したい。

(委員)

- ・ 他地区でも走ることを期待している。
- ・ いろんなアイデアの説明があったので、良いところを参考に、情報交換しながら、よい方向に進められればと思う。よい事業を期待している。

(議長)

- ・ いくつかの協議会ができてきたら、連合会の組成も進めていただきたらと思う。
- ・ 一部区間で、名鉄路線バスが運行していないか。影響がないか。

(委員)

- ・ 一部区間、市民病院部分で運行している。競合することになる。
- ・ この地域は、1日 550 名の利用がある。市の協力をいただきながら運行しているため、調整しながら対応したい。
- ・ 7月から名鉄バスは3者統合した。ICカードの利用が可能となった。15%のカード利用がされている。安定した数の利用があり、路線バスも利用者が増えるように、働きかけをしていきたい。

(議長)

- ・ 導入に対して、反対ではないという意見でよろしいか。

(委員)

- ・ はい。

(議長)

- ・ 交通会議は、当該地区の問題だけでなく、市全体として問題がないかも意見を頂戴したい。
- ・ エコバスは、電気という選択肢もあるが。

(委員)

- ・ 廃油の回収を現在も行っている。そのリユースを進めたい。
- ・ 地域での賛同は、女性が中心。男は関心がない。多数決では少数派かもしれない。
- ・ 不純物も 99.9%クリアしたと聞いている。セブンイレブンの配送車、西松建設のトラックなどで導入している。環境意識の高い企業は取り組んでいる。

(委員)

- ・ 燃料電池も含めて新エネルギーの活用について、市民の意見を伺いながら対応している。
- ・ 廃油については、市民団体で回収が行われていた。12月でその団体の活動は停止するが、サーラで継続すると聞いている。回収拠点の確保を模索しているところ。東部地区のコミュニティバスとコラボできるのであれば、連携して進めたい。

(5) その他

ア 夏休み小学生50円バスの実施結果について

- ・ 事務局より資料6に基づいて説明が行われた。

イ その他

(委員)

- ・ 名鉄バスから自社の動向について報告があった。路線バスや鉄道の利用状況、タクシーチケット配布事業の利用状況など、都度報告をお願いできるとよい。事業者の協力が必要となるが、状況が確認できることになる。

(事務局)

- ・ これまで6月の会議、年1回報告してきた。できる範囲で、3月から報告していきたい。事業者の方々にも協力願いたい。
- ・ 次回の地域公共交通会議は3月26日予定との連絡を行い会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

蒲郡市地域公共交通会議委員

印

蒲郡市地域公共交通会議委員

印
